

第
60
回

三島市 美術展

日本画 洋画
彫刻・工芸
写真 書道

2012.6.19(火) - 24(日) 開場時間 10:00 ~ 19:30 (最終日は17:00)

三島市民生涯学習センター3階 市民ギャラリー・多目的ホール・講義室
〒411-0035 静岡県三島市大宮町1-8-38

主催 三島市美術展実行委員会 三島市教育委員会 お問い合わせ 教育委員会文化振興課 TEL.055-983-2672
<http://service.city.mishima.shizuoka.jp/mportal/groupHP/bijyutsuten/>

審査員 (50音順)

日本画	大場茂之	倉田文昭	坂本武典
洋画	中荃幸治	日吉 薫	湯浅 猛
彫刻・工芸	大杉富枝	杉山禎瑠子	福地孝行
写真	遠藤行保	堀部 清	村上益男
書道	増田文杏	山田翠岑	米津菊川

合評会

6月24日(日) 16:00 ~

表彰式

6月24日(日) 14:30 受付
15:00 ~ 16:00
三島市民生涯学習センター 5階 研修室

部門 日本画

No.	氏名	題名	
1	戸仲 敬三	山田川	P20号
2	佐藤 末美	月下美人	P12号
3	八木 久美子	月あかり	F10号
4	高木 初美	春呼ぶ	20号
5	山田 淳子	夏雲来たる	F50号
6	杉山 清弘	夏の日	30号
7	亀井 理江	日曜日	10号
8	佐々木 花世	湿原の朝	20号
9	土谷 美佐子	まなざし	P10号
10	元山 美恵子	芙蓉	10号
11	風間 かね子	ほおずき	10号
12	渡邊 忠	3月11日	F20号
13	草間 賢子	てっぽうゆり	30号
14	望月 雅未	箱根西麓 正見洞の眺望	F30号
15	和田 としこ	皇帝ダリア	F30号
16	小松 幸子	コッツウオルズにて	F20号
17	露木 富江	幸喜	F20号
18	柴田 田鶴子	七夕祭	F25号
19	平井 由利子	春色	F20号
20	松島 ふみ子	ライステラス・パリ	F50号
21	内村 千鶴子	ふじ	F30号
22	鈴木 アイ子	椿	10号
23	NOGAMI Nicole	Bambou Mandala	50号
24	渡邊 章子	出番	P20号
無鑑査	諸星 初代	フレンズ	S50号
委嘱	植松 高子	春の訪れ	P15号
委嘱	岡 和子	凧として	15号変
委嘱	片山 りつ子	藤	F6号
委嘱	神保 赫子	私の車	P30号
委嘱	杉本 順美	希望	変15号
委嘱	高木 扇華	天の橋立て	P30号
委嘱	高梨 恵美	牡丹	20号
委嘱	水谷 くら	山ごぼう	P20号
委嘱	八木 百合子	収穫	P25号
審査員	大場 茂之	秋気	F10号
審査員	倉田 文昭	釣船	F15号
審査員	坂本 武典	少女	F8

部門 洋画

No.	氏名	題名		
1	福田 佳子	月の夜に	10号	油彩
2	加藤 幸男	異人館のある港	80号	油彩
3	遠藤 順夫	「はこね駒ヶ岳」	F15号	油彩
4	潮木 正広	西伊豆 岩礁	20号	油彩
5	安藤 幸子	カンパニユラの季節	P60号	油彩
6	榛村 典和	橋梁	30号	油彩
7	本田 重崙	ふる里慕情	50号	油彩
8	山本 勝豊	三春滝桜(福島県)	F10号	水彩
9	小幡 悦朗	公園の桜樹	50号	油彩
10	山田 左千夫	時を待つ人達	F10号	アクリル
11	池谷 一夫	大瀬崎の春	15号	油彩
12	芹澤 節子	夏の想い出	F50号	油彩
13	外川 雄章	ひだまり	F50号	油彩
14	田村 久美子	秋の想い	F15号	油彩
15	村越 寧子	アンフォラ	F50号	油彩
16	松本 静香	凜として	F30号	油彩
17	中島 良和	林の風景	F30号	仮縁
18	小池 俊二	ハイドランジア	50×57cm	水彩
19	淵澤 護郎	春を待つ富士山麓	30号	油彩
20	土屋 良之	温暖化と再生	F50号	油彩
21	山本 邦浩	明日へ	F50号	油彩
22	久保田 重好	道	F25号	カラーマーカー
23	勝俣 あい子	水玉模様	20号	油彩
24	内田 壯志	鸚鵡貝のある静物	変40号	油彩・板
25	鈴木 孝男	実り	P10号	油彩
26	福盛 順子	アトリエ(休憩)	S25号	油彩
27	青木 眞子	アレグリアス	F20号	油彩
28	杉山 きみ江	追憶	F60号	油彩
29	松下 博俣	柿田川湧水	50号	油彩
30	伊藤 幸枝	友人	F10号	油彩
31	斎藤 ひろ子	自画像	F20号	油彩
32	大成 修治	中郷温水池	F10号	油彩
33	澤野 史朗	箱根大根	F50号	油彩
34	久峯 公雄	満開の桜	30号	アクリル
35	西川 ナヲ	街角(ヴェネチア)	F50号	油彩
36	西川 泰久	都会の昼下がり	F50号	油彩
37	小林 春	湧水群	F50号	油彩
38	植松 和子	魚群	F50号	水彩・アクリル

39	井出 悦子	羽衣の舞	50号	油彩
40	小野 登志子	光の射す方へ	60号	油彩
41	坂井 史	After image	50号	油彩
42	吉岡 まき子	山の秋	77×59cm	パステル
43	世古 智子	象—IWA・NAMI・KUMO	155×125cm	アクリル・墨
44	吉田 庄三	祭	85×110cm	水彩
45	山口 誠二	春爛漫	F20号	油彩
46	栗原 邦子	静物	F30号	油彩
無鑑査	清水 和子	花と少女	F50号	油彩
委嘱	石沢 正治	レクイエム	F100号	油彩
委嘱	小池 タケシ	北の浜(キトウシ)	F50号	油彩
委嘱	鈴木 文江	ひまわり	F20号	油彩
委嘱	萩原 芳男	ファンタジア	F50号	アクリル
委嘱	前田 光一	狩野川の清流	40×55cm	木版画
委嘱	山田 幸司	白菜のある静物	F50号	油彩
委嘱	山本 捷	赤の組曲	F50号	油彩
審査員	中荃 幸治	漁師小屋風景	M30号	油彩
審査員	日吉 薫	初夏	F30号	油彩
審査員	湯浅 猛	暮れ行く港	M30号	油彩

部門 彫刻工芸

No.	氏名	題名	
1	沼上 敏裕	望郷の森	陶芸
2	沼上 敏裕	ひまわり	陶芸
3	岡部 光二	道	木象嵌
4	岡部 光二	朝霧	木象嵌
5	西澤 公久	星空	陶器
6	西澤 公久	竹	陶器
7	長澤 武司	天平の舞	銅・鍛金
8	山本 峯子	かしわ葉あじさい	七宝焼
9	榊 知恵子	貴婦人の小物入	陶磁器絵付け
10	榊 知恵子	犬を抱いた少女	陶磁器絵付け
11	後藤 律子	福袋	陶芸
12	鈴木 央子	せせらぎ	陶芸
13	落合 綾香	身にまとふ	手描き友禅
14	段原 良則	トマトの木で蝶の婚活	銅板
15	杉山 久子	組鉢「青い薔薇」	彩磁練り込み
16	栗野 逸子	秋萌ゆる	日本刺繍
17	栗野 逸子	阿修羅像	日本刺繍
18	内田 明子	焼締め壺	陶芸
19	櫻川 秀紀	金色彩飾り大皿	陶芸

20	伊藤 善健	泥絲蓮文鉢	陶芸
21	桐生 栄子	自然の力と井川の羊たち	綴れ織り
22	内田 明子	刷毛目急須	陶芸
23	内田 壯志	早春譜	板 紐
24	風間 正博	木灰傘立て	陶芸
25	風間 正博	急須セット	陶芸
26	南波 壽子	練り込み花文鉢	陶芸
27	南波 壽子	自然釉網目花文辣韭薤壺	陶芸
28	石井 勲	十二神将 波夷羅と龍	陶器
委嘱	小出 清	水指	陶芸
委嘱	小出 清	華三島大鉢	陶芸
委嘱	芹澤 貴清	檻褌の文箱	木工
委嘱	芹澤 貴清	蜘蛛の文箱	木工
委嘱	村山 えつ子	想	七宝焼
委嘱	八木 弘明	△○□(花入)	陶芸
審査員	大杉 富枝	かくれんぼ-頭かくして尻かくさず	革工芸(革人形)
審査員	杉山 禎瑠子	花葉紋染付扁壺	陶器
審査員	杉山 禎瑠子	線彫大器	陶器
審査員	福地 孝行	男の肖像	石コウ

部門 写真

No.	氏名	題名
1	杉本 十八子	紅葉の里 無事を祈る
2	石井 敏雄	春のささやき
3	清水 久美子	凍てつく
4	杉山 吉弘	少女
5	本杉 芳一	ウイグルの印象
6	宮澤 幸代	蒼色庭園
7	岩谷 夕起子	浜辺
8	神田 照子	どうしたの？
9	鈴木 由美子	旧街道
10	植松 高子	初冬
11	飯田 英代	街角ミラー
12	矢野 米子	スカット青空
13	矢野 秋男	びゅうお
14	坂部 修身	あ〜つかれた！
15	後藤 弘人	小さな求愛
16	岩崎 美子	花のトンネル
17	遠藤 精次	秋彩
18	阿部 敏幸	深まる秋
19	萱沼 康	芽生え

20	伊藤 勝男	決意
21	須田 通計	冬日
22	古澤 久志	紅一輪
23	久保田 義博	夏色男
24	澤田 琢磨	晩秋のネパール
25	相磯 美恵子	温泉気分
26	間宮 勇次	孤高に聳える
27	片桐 邦彦	白き姿
28	黒岩 琢雄	山中城風情
29	井上 雅枝	おじいちゃん すごいよ
30	井上 佳治	あかり
31	渡邊 修一郎	風雪に耐える
32	金子 榮治	井の中の天空
33	今井 保俊	家路の頃
34	藤井 敏文	春ですよ〜っ!!
35	藤原 英修	生還
36	深澤 雄太郎	未来へ この柿田川湧水を
37	細川 純也	秋陽
38	久保田 周一	早春のアート
39	近藤 ヤイ子	高山に咲く
40	佐藤 勝次	冬の朝
41	須田 武臣	4月のウインド
42	尾崎 清美	茶つみ
43	長島 弥	北沢にて
44	佐藤 義隆	雪の山中城址
45	池田 安慶	蕎麦畑より八ヶ岳を望む
46	千葉 和郎	「見ザル、言わザル、聞かザル」たち
47	千葉 美恵子	初雪
48	石原 新二	桜花に誘われて
49	佐藤 幸子	水面
50	上村 高敏	金色の帳
51	松根 大樹	青葉雨の桜川
52	大石 洋	AM3:00
無鑑査	藤澤 孝代	都会
委嘱	青木 久尚	至福の刻
委嘱	植松 宏祐	修禅寺秋色
委嘱	齋藤 敏夫	狐の嫁入り
委嘱	薩川 高宏	遊歩道
委嘱	菅谷 章	爽やかな風
委嘱	露木 義光	彼岸花の咲く頃
委嘱	平原 定秋	階段

委嘱	福田 米男	高原の落日
委嘱	山田 重夫	巣づくりの頃
審査員	遠藤 行保	おばちゃん
審査員	堀部 清	裏通り
審査員	村上 益男	光景

部門 書道

No.	氏名	題名
1	久保田 山吹	破山寺後禅院
2	森 翠功	七言二句
3	笹津 治子	繚乱
4	篠崎 美代子	枕草子 春は曙…
5	三浦 文子	春の夜に小雨そぼふる
6	関根 絹子	漆胡樽
7	石橋 益恵	音にきく
8	佐々木 朋子	五月雨の
9	勝木 米子	越の国
10	田中 仁雄	任淳詩
11	森田 睦子	これやこの…
12	河野 浩美	百人一首
13	熊谷 まゆみ	すみぞめの袖
14	石川 紀子	色みえで…
15	松田 雅子	辛崎の
16	土屋 あい子	秋の野の
17	米山 幸代	白雲
18	高田 杏華	かねさむき
19	秋山 祥丘	江月照松風吹
20	小澤 祥花	三閭廟
21	清水 祥苑	登柳州鷺山
22	秋野 香花	夏の日
23	滝川 明子	千字文
24	杉本 敏子	杜甫詩
25	増間 五三二	楚辭一節
26	上野 衣代	張来詩
27	中倉 且代	李白詩
28	中村 玉操	蓬萊に
29	米津 尚堂	天地玄黄
30	海野 直楓	和歌一首
31	西島 柚峯	幾山河
32	鈴木 悠峰	てまり
33	平林 みゆき	時鳥

34	佐野 幸楓	和歌一首
35	杉山 紫川	和歌一首
36	土屋 玉楓	夢
37	平山 千加子	故郷
38	鈴木 祥世	楚辭一節
39	渡辺 加津美	温厚和平
40	深田 春美	守道有天知
41	山田 翠竹	鹿柴
42	織田 翠泉	七言二句
43	山下 翠朋	奉送五叔入京…
44	高桑 翠溪	題義公禪房
45	山田 翠穂	相送
46	渡辺 翠幸	七言二句
47	野口 幸子	尋隠者不遇
48	守屋 里英	杜甫詩
無鑑査	鈴木 翠香	田家 春望
委嘱	柿島 香淳	李白詩
委嘱	甲石 雅子	夕暮れは
委嘱	鈴木 玉翠	臨機応変
委嘱	高田 暁華	まとちかき
委嘱	沼上 祥山	對酒(其四)白楽天
委嘱	沼上 祥堂	心欲小而志欲大
委嘱	増田 花峰	人の世も
委嘱	和田 菁玉	杜甫詩
審査員	増田 文杏	松風に
審査員	山田 翠岑	竹里館
審査員	米津 菊川	鯉

第60回三島市美術展 入賞者一覧

平成24年6月17日現在

【日本画の部】

	目録No	氏名	題名	
市長賞	20	松島 ふみ子	ライステラス・パリ	F50号
議長賞	5	山田 淳子	夏雲来たる	F50号
教育長賞	21	内村 千鶴子	ふじ	F30号
実行委員長賞	17	露木 富江	幸喜	F20号
舜堂賞	15	和田 としこ	皇帝ダリア	F30号
奨励賞	6	杉山 清弘	夏の日	30号
奨励賞	18	柴田 田鶴子	七夕祭	F25号
市民選賞	市民選賞は、開票後に美術展会場内に掲示します。			

〔審査員講評〕

この度、初めての参加で皆様の強い思いを感じました。惜しくも賞にもれた「Bambou Mandala」は荒削りながら新しい感覚を持ち合わせて共感を覚える！「鉄砲百合」は難しい緑の色合いをうまく表現していて、これからの可能性を感じました。「まなざし」は阿修羅の強く深い思いを感じる良い作品でした。絵は我が身の投影と思いながら日々自分探しです。ぜひオリジナルを追い続けてほしいものです。

審査員 大場 茂之

誠に残念ながら、賞にならなかった作品の中には、次回に期待される作品が多く、審査員として大変判定に苦慮した。

今回の作品では人物または人物像の作品4点、風景画8点、静物画12点、計24点であり、前回より出品点数が1点多いが、洋画62点と比べて少なく、ぜひもっと多くの出品を期待したい。

賞に入った作品は、それぞれ完成度が高く、よいところに目をつけていて、やさしさが感じられる作品が多かったように思われる。今後の一層の精進を期待する。

審査員 倉田 文昭

今展は全体に良作、力作が多かった。市長賞の作品は、色づかい、細部にも筆の入っている秀作である。議長賞作は背景の墨色のムラが美しく、下草のシルエットが見事であった。他の受賞作も日本画の品格の高い良い作品である。私個人としては賞には入らなかったが「春呼ぶ」の構図の良さ、「日曜日」の音楽の聞こえてくるような楽しさは心地良かった。

審査員 坂本 武典

【洋画の部】

	目録No	氏名	題名	
市長賞	43	世古 智子	象—IWA・NAMI・KUMO	155×125 アクリル墨
議長賞	3	遠藤 順夫	「はこね駒ヶ岳」	F 15号 油彩
教育長賞	40	小野 登志子	光の射す方へ	油彩
実行委員長賞	24	内田 壯志	鸚鵡貝のある静物	変40号 油彩・板
舜堂賞	35	西川 ナヲ	街角(ヴェネチア)	F 50号 油彩
奨励賞	44	吉田 庄三	祭	85×110 水彩
奨励賞	5	安藤 幸子	カンパニユラの季節	P 60号 油彩
奨励賞	22	久保田 重好	道	F25号 カラーマーカ-
奨励賞	21	山本 邦浩	明日へ	F 50号 油彩
奨励賞	2	加藤 幸男	異人館のある港	80号 油彩
市民選賞	市民選賞は、開票後に美術展会場内に掲示します。			

〔審査員講評〕

出品点数が若干減少し、近年、従来から市展を支えた作家の出品が減り、新人の台頭が著しい。

受賞作品は抽象・心象・具象的表現形式とバラエティーになった。反面、個性的な作品が少なく、賞に洩れた作品との評価に差がなく難しい審査となった。展示された委嘱作家等の表現の意図・技術に学び、じっくり描く心で次回の作品創りに期待をしたい。

審査員 中荃 幸治、日吉 薫、湯浅 猛

【彫刻・工芸の部】

	目録No	氏名	題名	
市長賞	15	杉山 久子	組鉢「青い薔薇」	彩磁練り込み
議長賞	16	栗野 逸子	秋萌ゆる	日本刺繍
教育長賞	18	内田 明子	焼締め壺	陶芸
実行委員長賞	4	岡部 光二	朝霧	木象嵌
舜堂賞	13	落合 綾香	身にまとふ	手描き友禅
奨励賞	27	南波 壽子	自然釉網目花文辣韭薤壺	陶芸
奨励賞	25	風間 正博	急須セット	陶芸
市民選賞	市民選賞は、開票後に美術展会場内に掲示します。			

〔審査員講評〕

今年の作品を観てとても嬉しかったこと、それは作り手の想いや、努力の跡が手にとる様に解り、質が高く、物作りをめざす多くの人々に大きな励ましとなること間違い無し、と云えると思いました。出来得ればもっと多くの作品が出され、審査員を困らせる状況が生まれることを次年度に望みたいと思いました。

審査員 大杉 富枝

昨年と比較すると美術展に関心を抱いた様で応募者数も増し、審査員同士色々迷いながら楽しく巡覧し賞を決めるのには、大変苦労しました。皆様の作品、皆素晴らしい出来ばえです。出品した方々これからも益々努力向上を目指し来年を期待します。

実行委員の皆様のご努力有難うございます。

審査員 杉山 禎瑠子

彫刻・工芸部門では間口が広く、今年もさまざまな分野から出品されて来ました。それぞれに異なる技術的な難しさの中でそれぞれの作品が丁寧に根気よく仕上げられており敬服しました。

今年は全体的にレベルも高く、賞に甲乙つけ難く苦労しましたが、結果的に良い美術展になったなと思いました。

審査員 福地 孝行

【写真の部】

	目録No	氏名	題名
市長賞	52	大石 洋	AM 3:00
議長賞	9	鈴木 由美子	旧街道
教育長賞	27	片桐 邦彦	白き姿
実行委員長賞	2	石井 敏雄	春のささやき
舜堂賞	28	黒岩 琢雄	山中城風情
奨励賞	3	清水 久美子	凍てつく
奨励賞	18	阿部 敏幸	深まる秋
奨励賞	40	佐藤 勝次	冬の朝
奨励賞	21	須田 通計	冬日
奨励賞	16	岩崎 美子	花のトンネル
市民選賞	市民選賞は、開票後に美術展会場内に掲示します。		

〔審査員講評〕

今年作品のレベルが高く感じました。
 昨年より作品が少ないけれど、情熱や実践経験によって蓄積された作品を作り上げて来ると感じます。
 選にもれた作品でも、ここをカットしてとか色々注意すれば良い作品になったのにと感じます。

審査員 遠藤 行保

今回出品料が1000円と言う事もあったのか、出品点数が20点ほど少なくなったが、作品のレベル、プリントの質ともに上がってきていると思う。その中で撮影者がいかに自分自身の目で見て作品作りをしているかを重視して審査をしました。
 今回もモノクロ作品が少なく、残念ではあります。次回は出品点数が少しでも多くなるよう期待します。

審査員 堀部 清

今年作品のレベルが例年以上に高く、一定の水準以上の作品ばかりでしたが、手なれた作品が多く、良い意味での素人っぽい新鮮な感覚の作品が少なくなってしまうように感じます。美術展としての写真部門ですので、既成概念にとらわれず、作者の感性や視点を強く感じさせる作品づくりに引き続き挑戦していただきたいと思います。

審査員 村上 益男

【書道の部】

	目録No	氏名	題名
市長賞	15	松田 雅子	辛崎の
議長賞	1	久保田 山吹	破山寺後禅院
教育長賞	28	中村 玉操	蓬萊に
実行委員長賞	38	鈴木 祥世	楚辞一節
舜堂賞	36	土屋 玉楓	夢
奨励賞	6	関根 絹子	漆胡樽
奨励賞	18	高田 杏華	かねさむき
奨励賞	45	山田 翠穂	相送
奨励賞	48	守屋 里英	杜甫詩
奨励賞	14	石川 紀子	色みえで…
市民選賞	市民選賞は、開票後に美術展会場内に掲示します。		

〔審査員講評〕

仮名は、大字作品、細字作品と色々見せていただき、表現の多様さを感じました。漢字も、楷、行、草、隸書等、日頃の臨書の成果が作品上に表現されていました。少字数、調和体、前衛などの作品がもっと発表されることを願っています。

審査員 増田 文杏

出品点数は昨年とほぼ同じで、バラエティーにとんだ作品は観る人の目を楽しませてくれると思います。

まじめにこつこつと努力し、一点の作品を仕上げるのに何日もかかったことがうかがえます。昨年に比べて目を見張るような進歩を遂げられた作品もあります。益々研鑽を積まれ、三島市の文化芸術の発展に貢献されるよう期待しております。

審査員 山田 翠岑

昨年と同様の感じを受けました。ジャンルが多様なほど、観る方は楽しいものです。できる限り多くの方が、この市展を貴重な発表の場として捉えて、自己啓発のために楽しみながら出品していただくことが一番だと思われます。何事も継続は力なりをモットーに、気軽に参加できる市展が望ましいと感じました。

審査員 米津 菊川